

令和8年度病害虫発生予察注意報第3号

令和8年6月1日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

5月下旬現在、予察灯および集合フェロモントラップに誘殺される果樹カメムシ類が平年に比べて多くなっている。そのため、果樹カメムシ類の越冬世代成虫が果樹園に飛来する可能性があり、果樹全般において果実被害の発生が懸念される。今後、果樹園への飛来が認められた場合、直ちに防除を行う必要がある。

病害虫名：果樹カメムシ類

- 1 対象作物 果樹全般
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生時期 やや早い
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発令の根拠

- (1) クサギカメムシの越冬成虫数（ベニヤ板トラップ、県内10地点調査）は、トラップあたり14.5頭（平年：9.4頭）と平年に比べてやや多かった（表1）。
- (2) 5月下旬現在、集合フェロモントラップ（水盤式）調査におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は62頭（平年：34.2頭）と発生時期はやや早く、発生量が多い（図1）。
- (3) 広島地方気象台の向こう1か月の中国地方の気象予報（5月28日発表）では、気温が平年より高く推移するとされていることから、発生時期はやや早く、発生量が多いと予想される。

6 防除上注意すべき事項

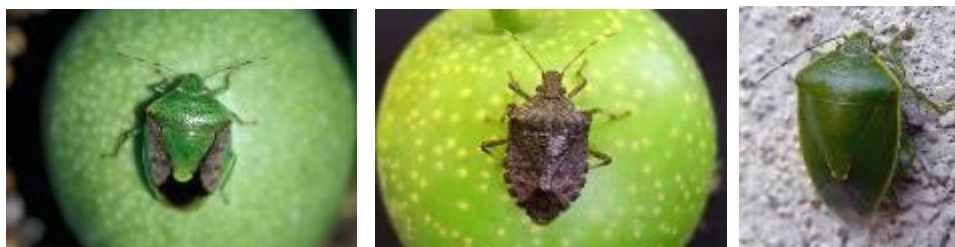
- (1) 被害や飛来状況は、ほ場間差が大きいため、園内外をこまめに見回り早期発見に努め、被害果実やカメムシ類の発生が多い場合は早急に追加防除を行う。特に、多発年に早期被害を受けた地域では注意する。
- (2) 多目的防災網を設置してある園地では、速やかに完全展張し、園全体を隙間なく被覆する。
- (3) 有袋栽培では、小袋かけおよび大袋掛けを早めに行い、物理的な防除に努める。袋をかけても、果実が肥大して果実袋に密着すると袋の上から吸汁されるため、園内を観察し、発生があれば防除を行う。
- (4) 果樹カメムシ類は夜間を中心に活動するため、薬剤散布は夕方に行うと効果が高い。また、移動性が高いため、薬剤散布は広域的に一斉に実施し、地域全体の密度を下げることを望ましい。
- (5) 合成ピレスロイド系殺虫剤の多用が、カイガラムシ類及びハダニ類の発生を助長した事例があるので、本系統薬剤を使用する場合は必要最小限の使用にとどめる。
- (6) 各樹種の防除薬剤は表2を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業等者の安全の確保に努め、防除を行う際は、農作業安全に十分に注意する。

表1 ベニヤ板トラップ調査*によるクサギカメムシの越冬量

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	平年**
県内10地点平均	6.1	14.1	7.2	5.3	9.9	4.4	26.3	4.4	14.5	9.4

* 表中の数字は、トラップあたりの成虫数を示す。設置数は2トラップ/地点

** 平年はH29年～R6年までの平均値を示す。



チャバネアオカメムシ成虫

クサギカメムシ成虫

ツヤアオカメムシ成虫

写真1 主要な果樹カメムシ類



ナシ‘王秋’の果実被害



カキ‘富有’の果実被害

写真2 果樹カメムシ類による果実被害（収穫期）

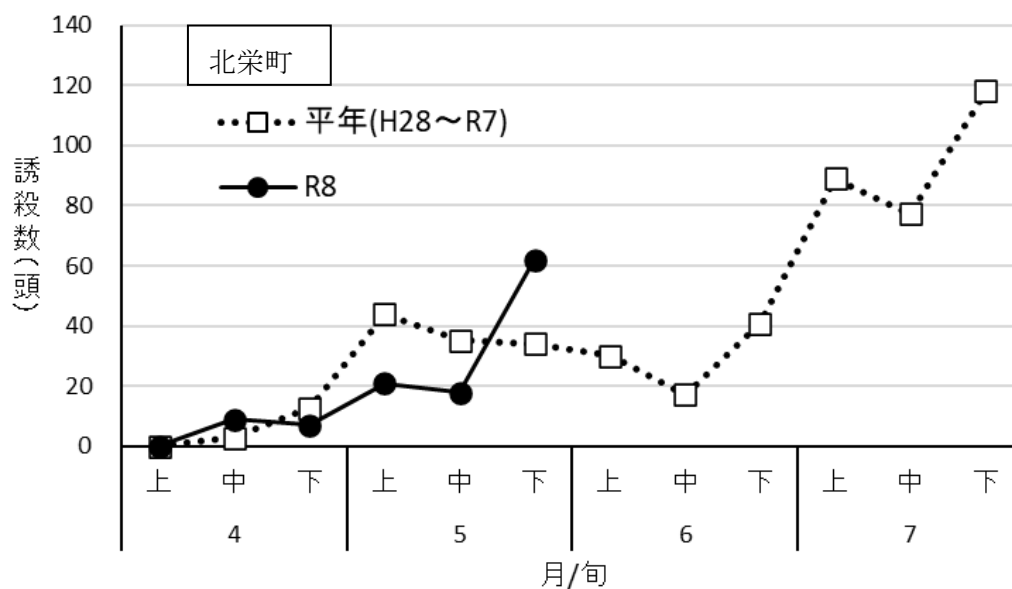


図1 集合フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移

表2 果樹カメムシ類の主な防除薬剤と使用基準*

作物名	農薬の名称	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	IRAC コード**	薬剤の系統
なし	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内		
	シペルメトリン水和剤 (アグロスリン水和剤)	1,000倍～ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内	3A	合成ピレストイド系
	シペルメトリン水和剤 (イカズチWDG)	1,500倍	収穫前日まで			
	テルスターフロアブル	3,000倍～ 6,000倍	収穫前日まで	2回以内		
かき	ジノテフラン水溶剤*** (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	クロラントラニリプロール ジノテフラン水和剤*** (キックオフ顆粒水和剤)	2,000倍	収穫前日まで		ジノテフラン : 4A クロラントラ ニリプロール : 28	
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アグロスリン水和剤	1,000倍～ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内	3A	合成ピレストイド系
	ぶどう	ジノテフラン水溶剤**** (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
りんご	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
うめ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	4A	ネオニコチノイド系

* 農薬の登録内容は令和8年6月1日現在

** IRACコードは殺虫剤の作用機構の分類を示す。

*** ジノテフランを含む農薬の総使用回数は、4回以内（塗布は1回以内、散布は3回以内）

**** ジノテフランを含む農薬の総使用回数は、3回以内（塗布は1回以内）

(お問合せ先) 鳥取県病害虫防除所（鳥取県園芸試験場内、TEL：0858-37-4211）



この情報は、鳥取県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<https://www.pref.tottori.lg.jp/boujosyo/> です。

ホームページ2次元コード